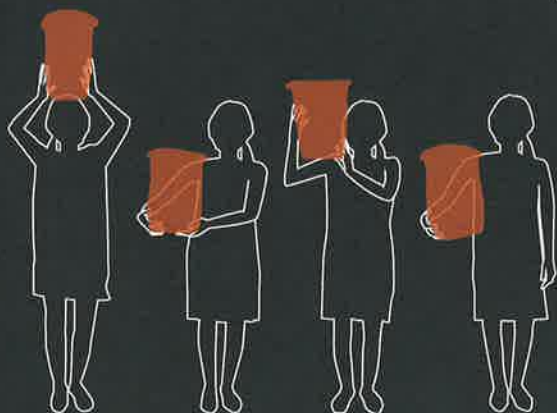


鷺内遺跡3000年前のクルミかご



南相馬市教育委員会 文化財課
2020年3月 発行資料

鷺内遺跡と出土したかご・ざる類

福島県南相馬市鹿島区に所在する鷺内遺跡において、平成29年10月から平成30年6月まで、県立特別支援学校建設に伴う発掘調査の依頼を受けて、南相馬市教育委員会が実施しました。その結果、鷺内遺跡からは古墳時代の河川の跡



南相馬市鹿島区(上空から)

や、縄文時代の土坑群などが見つかりました。この土坑は、人が穴を掘りそこに湧いた水を生活の中で利用するためのものです。この土坑の中から、約3000年～2800年前の編組製品と呼ばれる、かご・ざる類が多量に出土しました。



鷺内遺跡位置図

かご・ざる類の出土状況



鷺内遺跡の調査範囲

河川の跡

縄文時代の土坑群
(10m×25m)



見つかった土坑群



水の溜まった土坑



土坑内での調査の様子



土坑内で見つかったかご・ざる製品

かご・ざる類に使われる様々な技法

鷺内遺跡から出土したかごやざるは、様々な技法で作られていました。それらの多くは、現代の工芸にも使用されている技法です。縄文人たちは3000年も昔、すでにその技術を身につけていたと言えます。

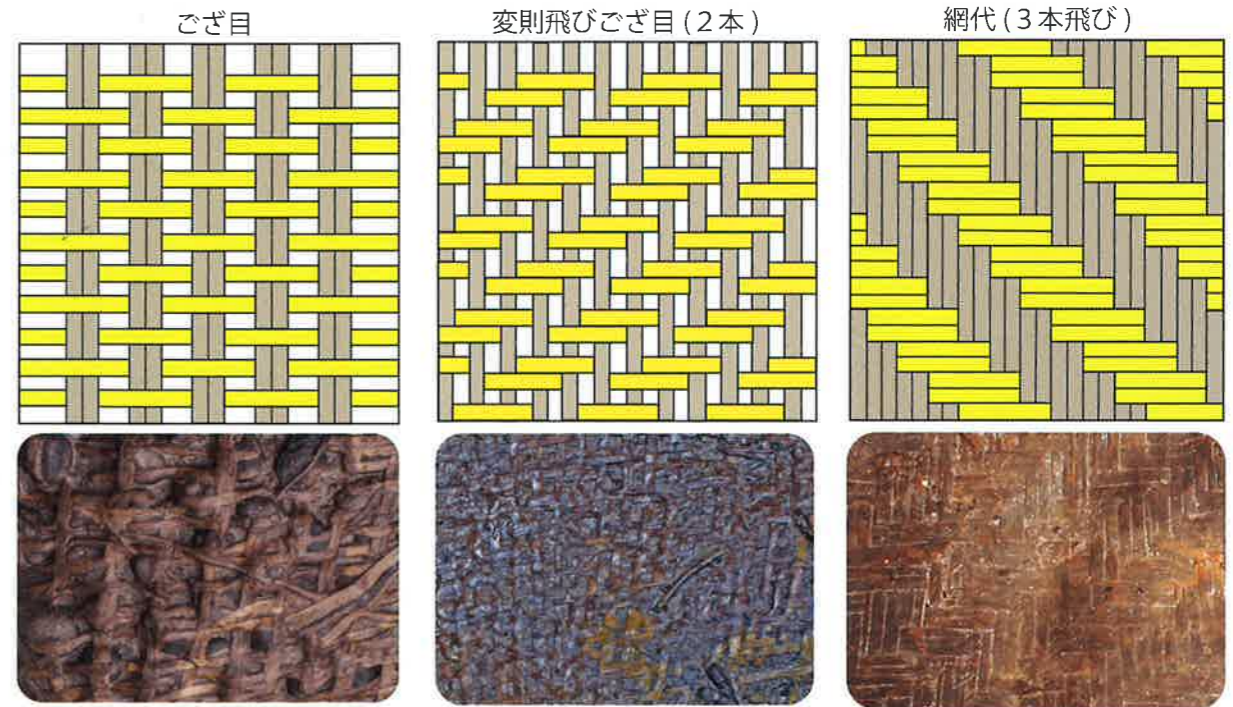
かご・ざる製品の大きさ、強度、中に入れるものや、使用する用途に適した製品とするために、縄文人はそれに合わせて技法を変えて作っていたと考えられます。



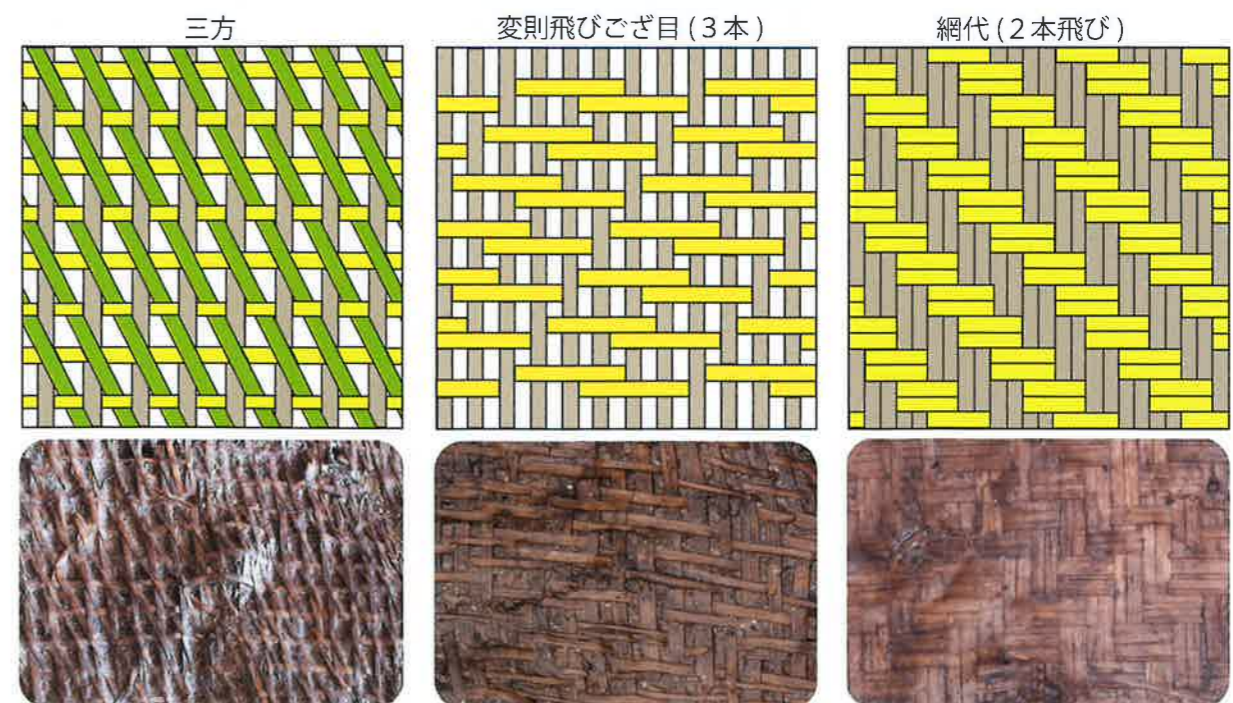
縄文時代のかご・ざる類には、様々な形の製品があったと考えられます。



クルミかごのように食糧の保管だけでなく、様々なものを入れて運搬にも利用していたと考えられます。



鷺内遺跡で見つかったかご・ざる類に使われている技法

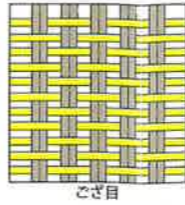


4号編組製品 (3000年前のクルミかご)

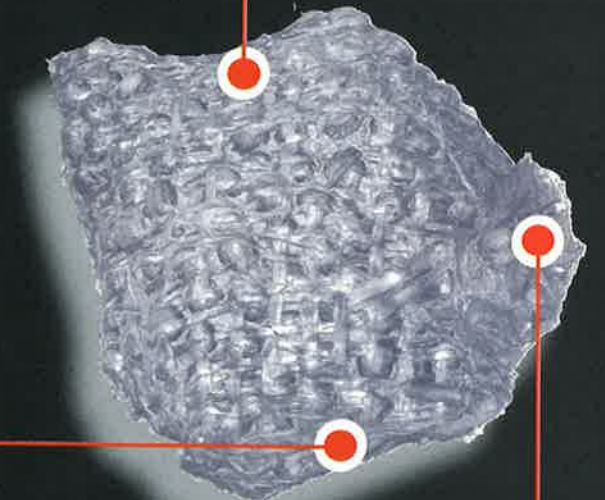
鶯内遺跡の編組製品の中でも、最も関心が多く寄せられているのは、4号編組製品「クルミかご」です。ほかの編組製品と違い、かごの口部分から底部分までが残ったままで見つかったことや、かごの中に粒よりのオニグルミが大量に詰まった状態での出土であったことから、大きな反響がありました。全国的にもこのような例はなく、このクルミかごの発見によって、縄文人のかごの使い方や、クルミの利用、水辺の利用法といった新たな解明に今後も大きな注目が集まります。

- ・高さ：33 cm
- ・横幅：20 cm
- ・素材：タケ垂科

- ・使用技法
体部：ござ目
底部：四ツ目



口縁部分：口の部分には素材が何度も巻き付けられているのが分かります。



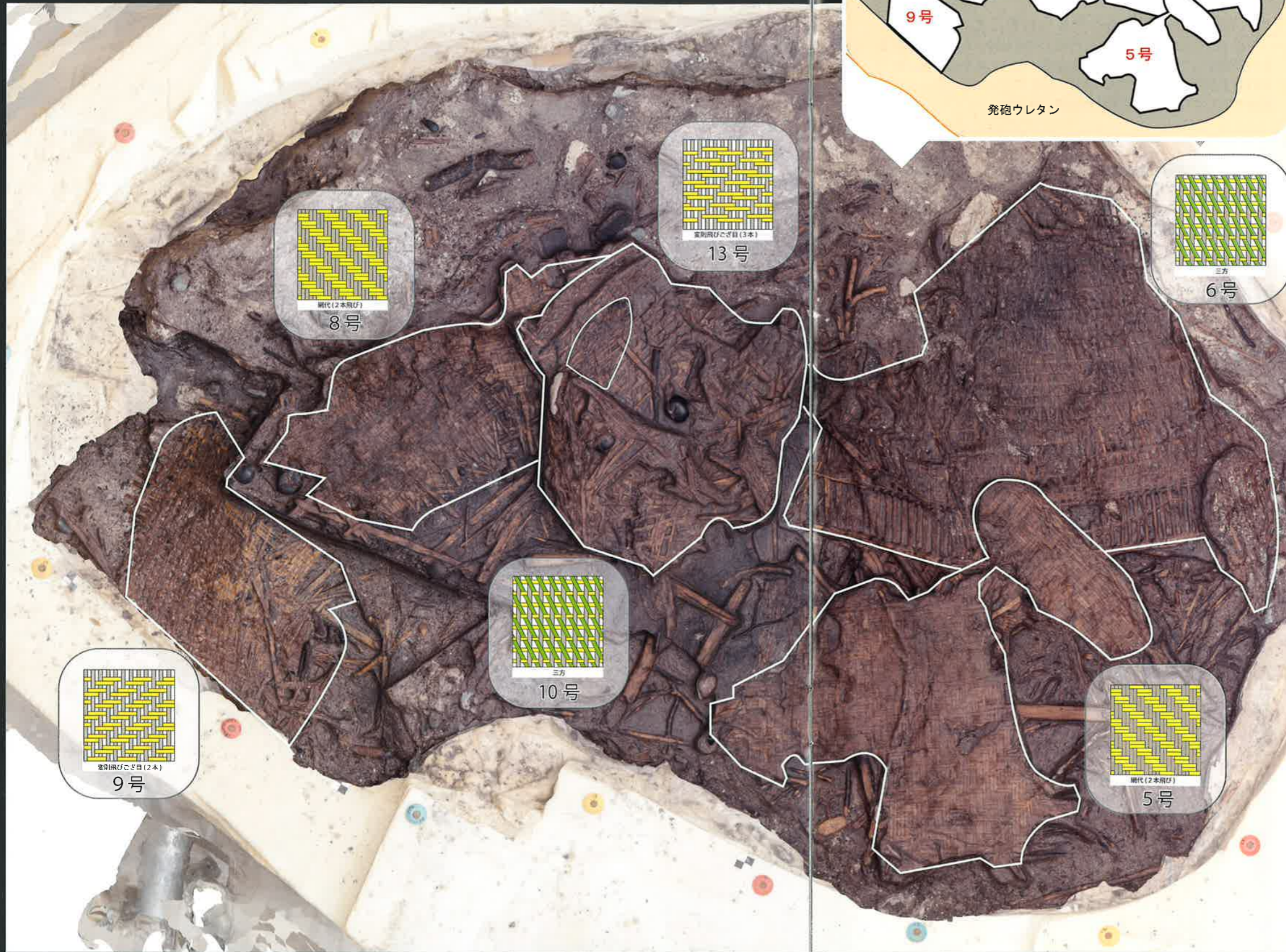
体部：縄文時代のクリの「いが」が、クルミかごにくっついたような形で残っていました。



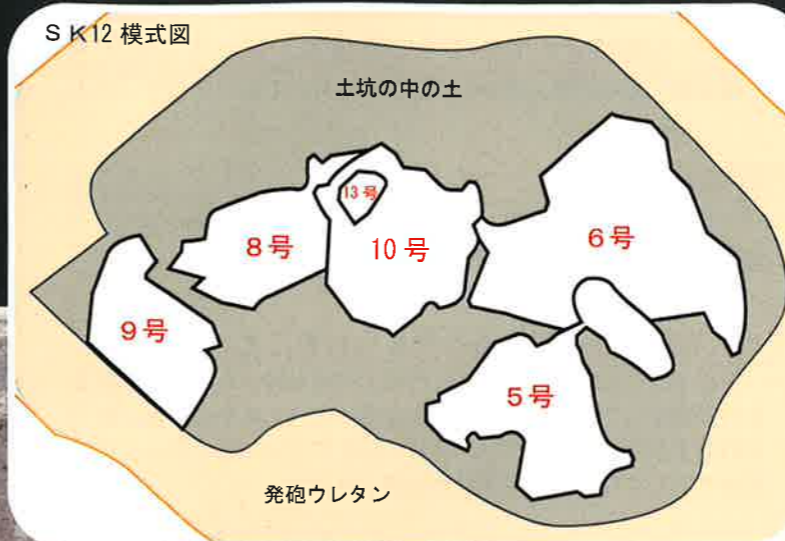
底部分：かごの底は、四ツ目という技法が使われており、より強度のあるつくりになっています。

折り重なって出土したかご・ざる類

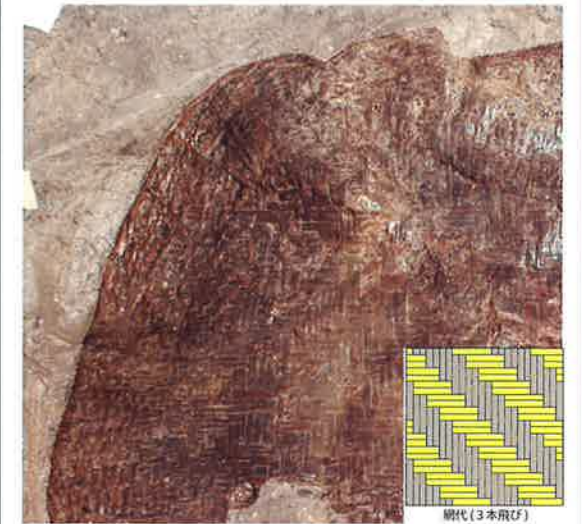
鷺内遺跡の土坑の中で、最も多くかご・ざる類が見つかった土坑(SK12)からは、合計10点のかご・ざる類が出土しました。土坑の中から幾重にも折り重なるようにして製品は出土し、長い時間にわたってこの土坑が縄文人によって使われていたことが分かりました。



SK12 模式図



そのほかに見つかったかご・ざる製品



1号編組製品



12号編組製品



15号編組製品

1つの土坑(SK12)から重なって出土した編組製品群

クルミかごは、いったい何がすごい？

- **口部分から底部分までが大きな破損なく残っていたこと。**
→ 縄文時代の植物質の遺物は大変残りにくいものとされています。
- **内容物が中に大量に入った状態のまま出土していること。**
→ これは、縄文人が使用していた状況を示す大変貴重な資料です。全国でもこのような出土例はありません。
- **クルミ専用のかごであると考えられること。**
→ クルミかごは、ほかの製品に比べて強度を持ったつくりであることが分かっています。クルミを大量に入れてもその重量に耐えられるように、適した素材、技法、形をしていることから、専用のかごとして作られた可能性が指摘できます。
- **特別に大きなクルミだけが入っていること。**
→ クルミかごの中に詰まったクルミは大きさが 3.6 ~ 4.2 cm と、出土した他のものに比べてとても大粒なものが大半を占めていることが分かりました。これは、縄文人が選別している可能性が高く、特別に保管していたものと考えられます。



なぜクルミを水に漬けていた？

クルミは一般的に虫殺しやアク抜きのために水漬けする必要はありません。
では、なぜ水のわく穴の中に縄文人は入れたのでしょうか？

クルミの殻を割りやすくする？ クルミの殻をきれいにする？ ネズミに食べられないように貯蔵した？
こっそりと誰にも見つからないように隠した？ 水に漬けたほうが美味しくなる？ 芽が出やすくなる？

様々な想像が膨らみますが、今後の研究結果が期待されます。

クルミはどのくらい入った？

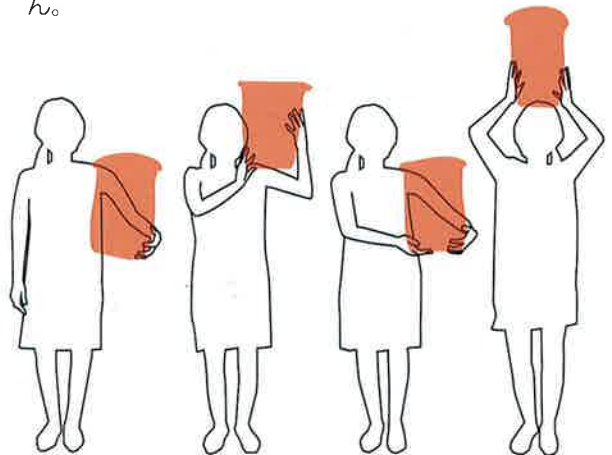
復元実験の結果、かごいっぱいに入れたところ、全部で 680 個、重さにして 5.9 kg のクルミが入ることが分かりました。



実物のデータをもとに、クラフトテープを利用して、クルミかごの復元実験をしました。

縄文人はどうやって使っていた？

縄文人はクルミかごをどのように使っていたのでしょうか？かご・ざる類は、保管のためだけでなく、運搬のためにも使用されていたと考えられています。クルミをたくさん詰めて、重くなったかごはどうやって持って帰ったのでしょうか？復元したかごを実際に持ってもらい、使用イメージ図ができました。縄文人にも様々な持ち方があったのかもかもしれません。



クルミかご使用イメージ図 ※縄文時代の女性を身長 150 cm とした